

第5回新しい資本主義実現会議

わが国のスタートアップ育成強化に向けて (官民ファンド INCJ での経験から)

日本商工会議所 会頭
株式会社INCJ 産業革新委員長
三村 明夫

2022年4月12日

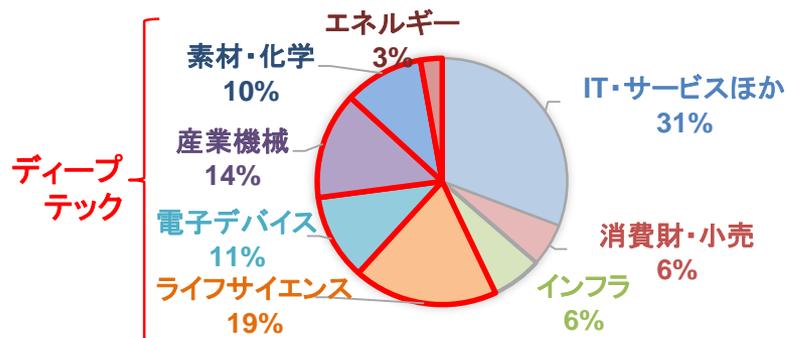
INCJ (旧 産業革新機構) のスタートアップ支援実績



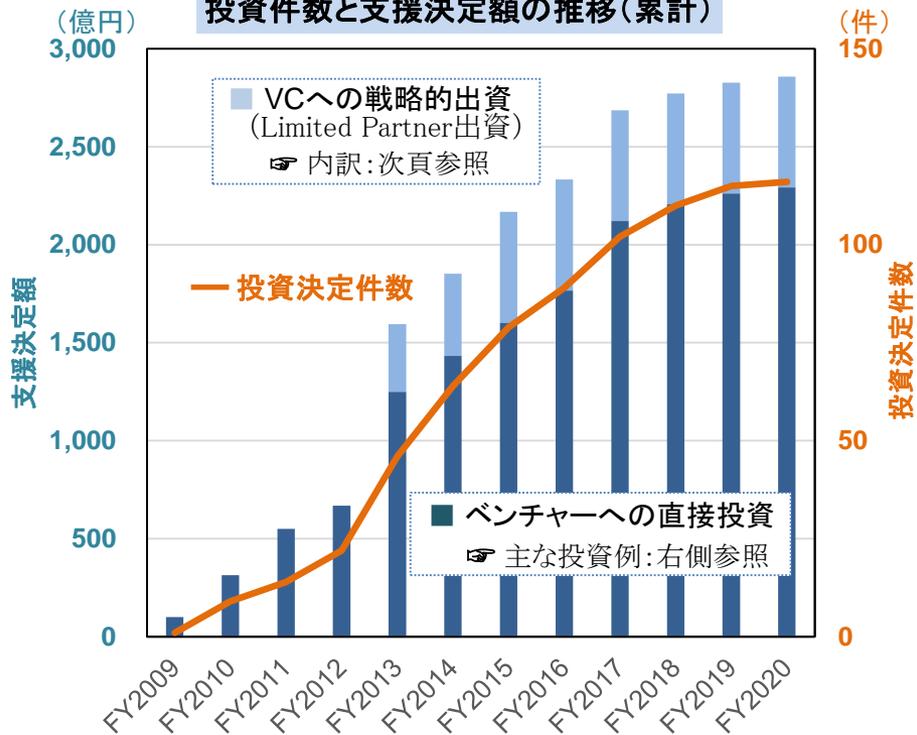
- INCJは、わが国のオープンイノベーションを牽引・誘発すべく、前身の産業革新機構設立（2009年7月）以来、スタートアップ投資100件以上、VC（ベンチャーキャピタル）への戦略的出資9件、総額 2,800億円超のスタートアップ支援を実施。
- わが国全体の国内VC投資の約2割をカバー*。
- スタートアップ支援における累計の投資 vs 回収実績は 1.3倍（投資額 1,211億円 vs 回収額 1,525億円）と、投資を上回るリターンを確保*。 *経産省「R2FY INCJの業務の実績評価について」より

- 投資に際しては、社会的な意義を重視、中長期でリスクが高く民間だけでは投資が困難な分野への投資を基本方針。
（民業補完の原則の下、民間マネーの呼び水効果も意識）
- 多額で長期の投資を要するディープテック分野向け投資が過半

スタートアップ投資の産業別投資件数



投資件数と支援決定額の推移(累計)



ディープテック分野の投資先例とINCJ投資額

創業分野 (ライフサイエンスの内数)

スコヒアファーマ (生活習慣病治療薬の開発)	71億円
メガカリオン (iPS細胞由来血小板製剤の開発)	53億円
ステラファーマ (新がん治療法BNCTの開発・製造・販売) → <u>2020年 新薬上市、2021年IPO</u>	35億円
Orphan Disease Treatment Institute (希少疾患薬開発)	20億円

宇宙分野 (産業機械の内数)

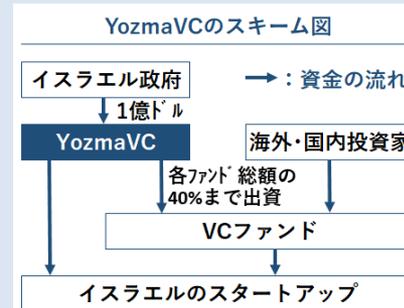
アストロスケールHD (宇宙デブリ除去技術の開発・サービス) → <u>推計企業価値：818億円</u> (2021年9月末時点**)	73億円
ispace (月面輸送・探査機の開発・サービス) → <u>推計企業価値：753億円</u> (2021年9月末時点**)	35億円

- INCJは、9件のVCファンドにLP (Limited Partner) として総額570億円の戦略的出資を実施。(前頁投資額の内数)
- INCJの出資が呼び水となり、大型の独立系VCファンドを組成し、経営支援機能も十分発揮できるVCやベンチャーキャピタリストを多数育成。
- それらファンドの投資先から多くの有力なスタートアップが生まれ、スタートアップ・エコシステムの発展にも寄与。

わが国のスタートアップ育成強化に向けた提言

① スタートアップへの資金供給拡大の仕組み作り

- 日本では、GPIFを始めとする年金基金と海外投資家による国内スタートアップ向けファンドへの投資が極端に少ない
- 機関投資家向けのスタートアップ投資誘導策を導入すべき (イスラエルのYozmaプログラムが参考例)



5年以内であれば、事前に定めた金額で、民間VCがYozmaVCのスタートアップの持ち分を買い取ることができるオプションを付与。

出典:内閣府「スタートアップ・エコシステムの現状と課題」
 [総合科学技術・イノベーション会議
 イノベーション・エコシステム専門
 調査会(第3回)R4.3.28 資料2より]

② スタートアップに特化した専門的アクターの育成支援

- スタートアップエコシステムの持続的発展のためには、経営支援機能を発揮する専門的アクターの存在が重要
- ①のスタートアップ投資誘導策においても、専門的アクターの機能を備えたVC、特に
 - ディープテックなどへの特化型投資
 - リード投資家を担う大規模VC
 - セカンダリーファンド
 に優先的に投資されるよう設計すべき

③ 大企業のオープンイノベーションへの取組の後押し

- ものづくりベンチャーが大規模に事業化する段階では、大企業との協業やM&Aで傘下に入ることも有力な選択肢
- 大企業のスタートアップ出資・買収に対するインセンティブとスタートアップの権利保護の両面で対策を強化すべき

VCファンド名(General Partner会社名)

ファンド
総額

内INCJ
投資額

VCファンド名(General Partner会社名)	ファンド 総額	内INCJ 投資額
WiL Fund I (WiL)	3.5億ドル	1億ドル
UTEC3号(東京大学エッジキャピタルパートナーズ)	146億円	100億円
グローバル・ブレイン5号(グローバル・ブレイン)	150億円	100億円
インキュベイトファンド3号(インキュベイトファンド)	110億円	50億円
UMI1号(ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター)	100億円	55億円
EESIスマートエナジー(環境エネルギー投資)	97億円	50億円
MPI-1号(MedVenture Partners)	60億円	44億円
テックアクセル1号(テックアクセル)	50億円	35億円
けいはんな学研都市ATRベンチャーNVCC(NVCC*)	47億円	25億円

*日本ベンチャーキャピタル



上記ファンドの投資先スタートアップ例

- メルカリ (2018年IPO)
- ソラコム (2017年KDDIが買収)
- ラクスル (2018年IPO)
- Biomedical Solutions (大塚HDが買収)
- ACSL (2018年IPO)
- Fyusion (2021年Cox Automotiveが買収)
- BASE (2019年IPO)
- A-Traction (2021年朝日インテックが買収)
- Green Earth Institute (2021年IPO)